

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2000-249063 (P2000-249063A)
 【公開日】平成 12 年 9 月 12 日 (2000.9.12)
 【出願番号】特願 平 11-51688
 【国際特許分類第 7 版】

F 0 4 B 39/00

F 0 4 B 27/08

【F I】

F 0 4 B 39/00 1 0 7 E

F 0 4 B 39/00 A

F 0 4 B 27/08 A

F 0 4 B 27/08 D

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 26 日 (2004.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

一対のセンタハウジング 1 1 , 1 2 は相互に固定され、それらの前後にはフロントハウジング 1 3 及びリヤハウジング 1 4 がそれぞれバルブプレート 1 5 , 1 6 を介して固定されている。前記両センタハウジング 1 1 , 1 2 , フロントハウジング 1 3 及びリヤハウジング 1 4 はアルミニウム合金よりなる。前記両センタハウジング 1 1 , 1 2 間にはラジアルベアリング 1 7 を介して駆動シャフト 1 8 が回転可能に支持されている。駆動シャフト 1 8 の中間部には斜板 1 9 が固定されており、その斜板 1 9 はスラストベアリング 2 0 によりフロントハウジング 1 3 及びリヤハウジング 1 4 に支持されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

そして、駆動シャフト 1 8 が回転されると、斜板 1 9 が一体に揺動回転され、この揺動回転によりピストン 2 2 が往復動される。このため、外部冷媒回路 (図示しない) に接続された吸入室 2 4 から吸入ポート 2 5 及び吸入弁 2 6 を介して冷媒ガスがシリンダポア 2 1 内に吸入される。そして、その冷媒ガスが圧縮されて吐出ポート 2 7 及び吐出弁 2 8 を介して吐出室 2 9 に吐出され、その吐出室 2 9 から前記外冷媒回路に送出される。